

第17期事業年度
(令和2年度)

決算報告書

自 令和 2年 4月 1日

至 令和 3年 3月31日

国立大学法人帯広畜産大学

令和2年度 決算報告書 (第17期事業年度)

国立大学法人帯広畜産大学

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	2,729	2,895	166	(注1)
施設整備費補助金	283	555	271	(注2)
補助金等収入	31	186	154	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	20	20	—	
自己収入	1,077	1,040	△36	
授業料、入学料及び検定料収入	744	698	△45	(注4)
雑収入	333	342	8	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	354	501	147	(注6)
計	4,497	5,200	702	
支出				
業務費	3,794	3,697	△96	(注7)
教育研究経費	3,794	3,697	△96	
施設整備費	303	575	271	(注8)
補助金等	31	141	109	(注9)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	354	321	△33	(注10)
長期借入金償還金	13	13	0	
計	4,497	4,747	250	
収入－支出	—	452	452	

(注) 決算報告書は、百万円未満切り捨てにより作成しています。

(注) 「運営費交付金」には、前年度からの繰越分75百万円が含まれています。

(注) 「補助金等収入」には、授業料等減免費交付金が42百万円含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しております。

○ 予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、前年度からの繰越額および予算段階では予定していなかった追加交付がされたことにより、予算額に比して決算額が166百万円多額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金等収入については、予算段階では予定していなかった補助金が交付されたことにより、予算額に比して決算額が271百万円多額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった補助金が交付されたことにより、予算額に比して決算額が154百万円多額となっています。
- (注4) 授業料、入学料及び検定料収入については、主として授業料等減免費交付金の交付により予算額に比して決算額が45百万円少額となっています。
- (注5) 雑収入については、主として家畜診療収入が見込額を上回ったことにより予算額に比して決算額が8百万円多額となっています。
- (注6) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、産学連携収入が当初の予定より28百万円増加したこと及び寄附金収入等が当初の予定より118百万円増加したことに伴い、予算額に比して決算額が147百万円多額となっています。
- (注7) 業務費については、教育研究経費において経費の節減に努めたことにより、予算額に比して決算額が96百万円少額となっております。
- (注8) 施設整備費については、(注2)に示した理由により、予算額に比して決算額が271百万円多額となっています。
- (注9) 補助金等については、(注3)に示した理由により、予算額に比して決算額が109百万円多額となっています。
- (注10) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注6)に示した理由により、収入額は多額となっておりますが、一部事業の翌事業年度への繰り越しのため、予算額に比して決算額が33百万円少額となっております。